

本年10月に 牧之原市誕生 を迎えます

10周年

平成27年10月11日、牧之原市は誕生10年の節目を迎えます。この機会が牧之原市のさらなる活力を生み出す契機となるよう、記念事業の実施を検討しています。

問い合わせ 秘書広報課 山本 ☎230052

みんなで取り組む10周年記念事業を募集

市では、市歌の作成やウォーキングイベント、花のまちづくりなどの事業を検討しています。これらの事業とは別に、市民の皆さんなどが自ら企画、運営する事業を募集します。

- 応募資格** 市内在住や在勤などする人を中心に構成する団体など。
- 募集期間** 平成27年2月末日まで。
- 応募方法** 指定の書類に必要事項を明記して下記の応募先に提出してください。
*書類は秘書広報課(榛原庁舎5階)または相良・榛原庁舎の窓口にあります。
*市ホームページからもダウンロードできます。
- 補助金対象事業** 1団体1事業 30万円を限度とします。(予定)
新規事業および既存拡充事業

牧之原市歌の歌詞を募集♪(みんなでつくり、歌おう!)

市民皆さんのさらなる一体感の醸成と郷土愛の高揚を図るため、「市の歌」をつくりまします。この「市の歌」の歌詞を皆さんから募集します。

- 応募資格** 牧之原市民に限らず、どなたでも応募できます。
- 募集期間** 平成27年3月13日迄まで。
- 概要** ♪牧之原市をイメージできる歌詞。
♪市民に親しまれ、老若男女を問わず誰もが歌える歌詞。
♪市民の一体感を醸成し、明るく楽しい歌となるような歌詞。
♪歌詞は3番以内とし、作品にタイトルをつけてください。
♪応募作品は、自作未発表のオリジナル歌詞で、他者の知的所有権(著作権)を侵害しないものに限りまします。
♪応募は1人1作品とします。
- 応募方法** 指定の応募用紙に必要事項を明記し、下記の応募先に提出してください。
b応募用紙は秘書広報課(榛原庁舎5階)または相良・榛原庁舎窓口にあります。
b市ホームページからもダウンロードできます。
- 審査選考** 牧之原市「市の歌」選定委員会(仮称)で厳正に審査し、最優秀作品1作品、優秀作品2作品を決定まします。
- 賞金その他** 最優秀作品5万円、優秀作品2万円を贈呈する予定です。
#入選作品に関する一切の権利は、牧之原市に帰属し、応募作品は返却ましません。
#最優秀作品については、作曲・編曲時に補作などを行う場合があります。

応募先

郵送 〒421-0495 静岡県牧之原市静波447番地1 牧之原市役所秘書広報課
FAX 0548-23-0059
メール seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp
持参 秘書広報課(榛原庁舎5階)または相良・榛原庁舎窓口
*電子メール、FAXまたは持参の場合は、締め切り当日の午後5時必着。郵送に締め切り当日の消印有効とまします。



みんなでバケツリレーによる消火訓練(中里区)

大人から土のつくりを教わる中学生たち(中里区)

▼自主防災会の訓練
午前9時の地震発生時のサイレンを合図に訓練が開始され、住民は避難場所に一斉に避難。避難誘導や要援護者の安否確認、無線を使つての情報収集などが行われました。その後、消火器やバケツリレーでの初期消火訓練、炊き出し訓練、応急救護訓練など、各自主防災会が独自に計画した訓練が行われ、多くの住民が参加。白井区では、子どもたちがまち歩きを行い、防災マップづくりに取り組みむなど、幅広い世代が地域における防災意識を高めました。訓練を通して、地域で「自助、共助」を確認し合い、絆をさらに深め、有事の際でもみんなで危機を乗り越えられる地域力を強化することができました。



子どもに消火器の使い方を教える消防団員(坂部区)



トリアージによる処置の流れを確認

▼救護所運営訓練
萩間小学校では、榛原医師会や萩間地区の市民など約100人が参加し、救護所運営訓練が行われました。訓練では、救護所開設から負傷者の受け入れ、けがの状況を把握して治療の優先度を決めるトリアージによる処置

の流れを確認しました。その際、医療機器の不足や負傷者を搬送する人手が足りない、ボランティアが必要などの課題が出ました。訓練に参加した人からは、「訓練に参加したことを生かし、災害時には積極的に手伝いたい」などの感想が聞かれました。

12月7日の「地域防災の日」に、市内全域で自主防災会を主体とした地域防災訓練が実施され、約1万6500人が参加しました。当日は、救護所運営訓練などといった実践訓練を通して、住民相互の絆を強め地域を守る力を養いました。

問い合わせ 危機管理課 加藤 ☎(23)0058

自らを守る力が地域を守る
みんなで築こう確かな絆

緊急排水ポンプの操作訓練
市では津波や高潮、大雨などの浸水被害軽減に向けて、緊急排水ポンプ設備を6台整備しました。ポンプ排水能力はいつでも毎分5トンです。6台同時に稼働すると、25メートルプール(幅1メートル、水深1メートル)の水(275トン)を約9分で空にすることができまします。12月7日、相良中学校で行われた操作訓練では、自治会役員や消防団、市内の建設業者など約100人が参加。操作方法を学びながら、排水ポンプの能力を確かめました。

問い合わせ 建設課 大橋 ☎(53)2628



勢いよくプールの水をくみ出す